

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 18日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県大和郡山市満願寺町444-3

氏 名 奈良県営水道管理者
奈良県知事 山下 真 (公印略)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

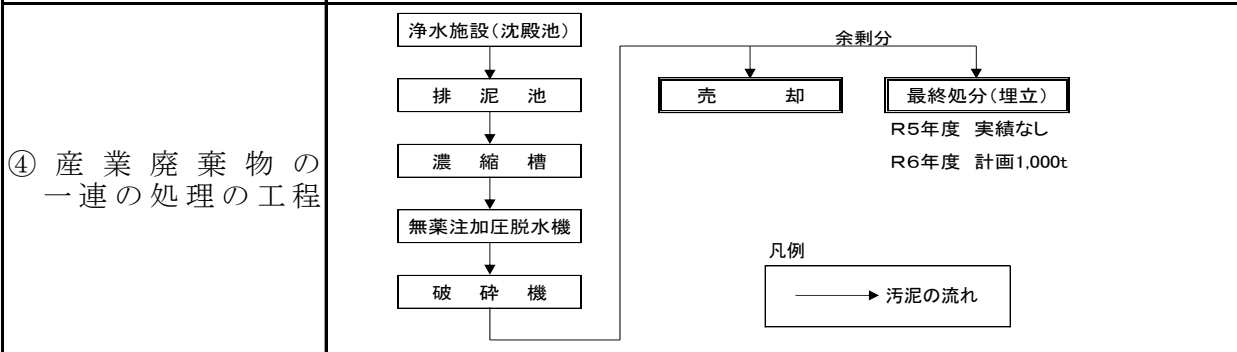
電話番号 0743-54-5985

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奈良県広域水道センター御所浄水場
事業場の所在地	奈良県御所市戸毛367-2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

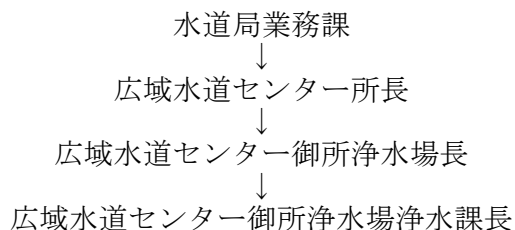
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	上水道業
② 事業の規模	総送水流量 58,393,885m ³ /年 (令和5年度)
③ 従業員数	8人



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	27,572 t	t
	(これまでに実施した取組)		
なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	28,417 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,552 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,631 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	25,020 t	t
(これまでに実施した取組) 浄水施設で発生した汚泥について、濃縮槽で濃縮した後中間処理施設(汚泥脱水機)にて脱水し、減量している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	25,786 t	t
(今後実施する予定の取組) 同上			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	- t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
売却できなかった余剰分の汚泥ケーキを大阪港広域臨海環境整備センターに運搬し、埋立処分する。(前年度は実績なし)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
同上 (本年度は1,000t運搬予定)			
※事務処理欄			